

**家庭ごみの有料化・戸別収集の導入・ごみ  
収集回数の削減に関するアンケート調査結果**

**平成28年3月  
市川市 清掃部**

## 1. 調査の目的

本調査は、さらなるごみの減量・資源化に向けて、市が検討を進めている「家庭ごみの有料化・戸別収集の導入・ごみ収集回数の削減」に関する3つのプランについて、意見交換会・郵送・eモニター制度を用いて、市民へアンケートによる意見調査を行い、今後のプランを検討していくうえでの参考とすることを目的としています。

## 2. 調査の設計

	意見交換会	郵送アンケート	eモニター制度	合計
実施期間	平成27年11月～12月 (計18回開催)	平成27年11月16日 発送	平成27年12月1日 ～12月14日	
対象者の条件	意見交換会参加者	市内在住20歳以上か ら無作為に抽出	eモニター登録者 (市内在住者限定)	
対象者数	569人	3,000人	約6,000人	9,569人
回答数	539人	1,382人	1,413人	3,334人
回答率	94.7%	46.1%	23.6%	34.8%

## 3. 設問の内容

問1：属性について

ア) 性別、イ) 年齢、ウ) 家族人数、エ) 居住形態、オ) 居住地区

問2：家庭ごみ有料化制度の導入について

問3：家庭ごみ有料化による1ヶ月あたりの負担額について

問4：プラスチック製容器包装類、ビン・カンの有料化制度の導入について

問5：戸別収集方式の導入について

問6：ごみ収集回数の削減について

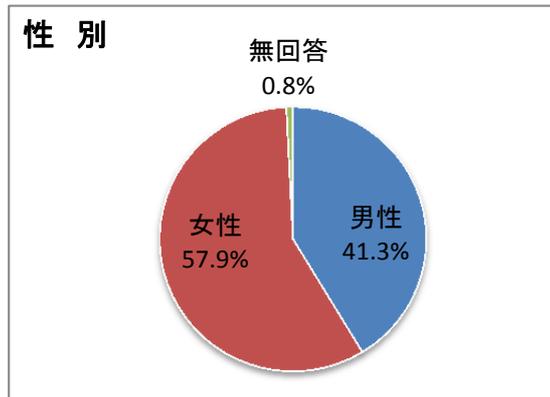
ア) 燃やすごみ、イ) 燃やさないごみ、ウ) ビン・カン

問7：自由意見の概要

問1 あなたご自身とご家庭について、お答えください。

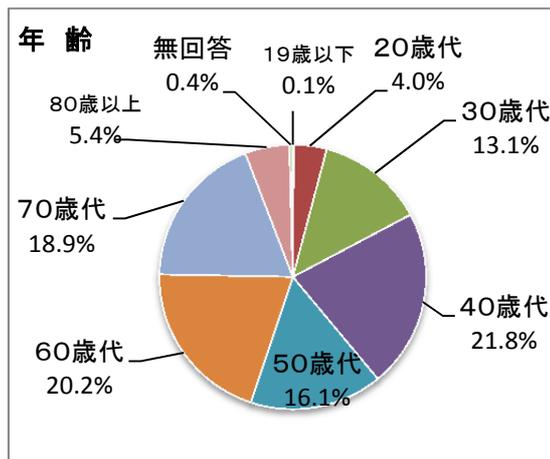
ア) 性別

	意見交換会		郵送アンケート		e-モニター		合計	
	回答数	回答比率	回答数	回答比率	回答数	回答比率	回答数	回答比率
1. 男性	229	42.5%	410	29.7%	739	52.3%	1378	41.3%
2. 女性	301	55.8%	955	69.1%	674	47.7%	1930	57.9%
3. 無回答	9	1.7%	17	1.2%	0	0.0%	26	0.8%
計	539	100.0%	1382	100.0%	1413	100.0%	3334	100.0%



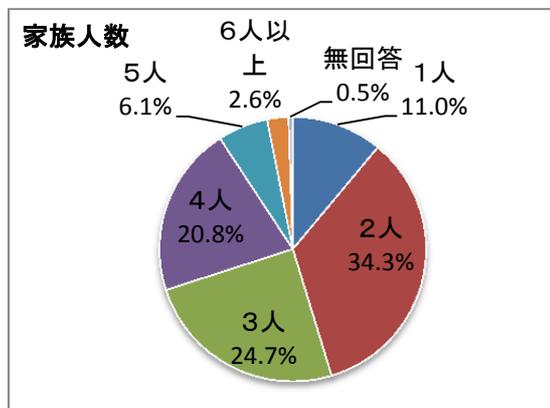
イ) 年齢

	意見交換会		郵送アンケート		e-モニター		合計	
	回答数	回答比率	回答数	回答比率	回答数	回答比率	回答数	回答比率
1. 19歳以下	0	0.0%	—	—	2	0.1%	2	0.1%
2. 20歳代	0	0.0%	110	8.0%	25	1.8%	135	4.0%
3. 30歳代	9	1.7%	229	16.6%	198	14.0%	436	13.1%
4. 40歳代	27	5.0%	271	19.6%	428	30.3%	726	21.8%
5. 50歳代	32	5.9%	224	16.2%	282	20.0%	538	16.1%
6. 60歳代	150	27.8%	285	20.6%	238	16.8%	673	20.2%
7. 70歳代	235	43.6%	197	14.3%	198	14.0%	630	18.9%
8. 80歳以上	78	14.5%	63	4.6%	38	2.7%	179	5.4%
9. 無回答	8	1.5%	3	0.2%	4	0.3%	15	0.4%
計	539	100.0%	1382	100.0%	1413	100.0%	3334	100.0%



ウ) 家族の人数

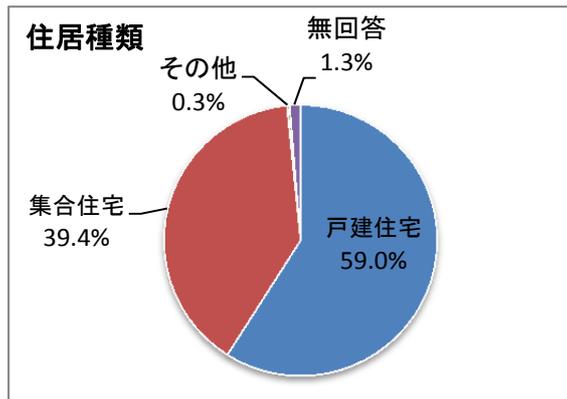
	意見交換会		郵送アンケート		e-モニター		合計	
	回答数	回答比率	回答数	回答比率	回答数	回答比率	回答数	回答比率
1. 1人	64	11.9%	186	13.5%	117	8.3%	367	11.0%
2. 2人	227	42.1%	471	34.1%	446	31.6%	1144	34.3%
3. 3人	142	26.3%	349	25.3%	332	23.5%	823	24.7%
4. 4人	57	10.6%	259	18.7%	377	26.7%	693	20.8%
5. 5人	21	3.9%	82	5.9%	100	7.1%	203	6.1%
6. 6人以上	20	3.7%	32	2.3%	36	2.5%	88	2.6%
7. 無回答	8	1.5%	3	0.2%	5	0.4%	16	0.5%
計	539	100.0%	1382	100.0%	1413	100.0%	3334	100.0%



※端数処理のため比率合計が100%とならない場合があります。

エ) 住まいの形態

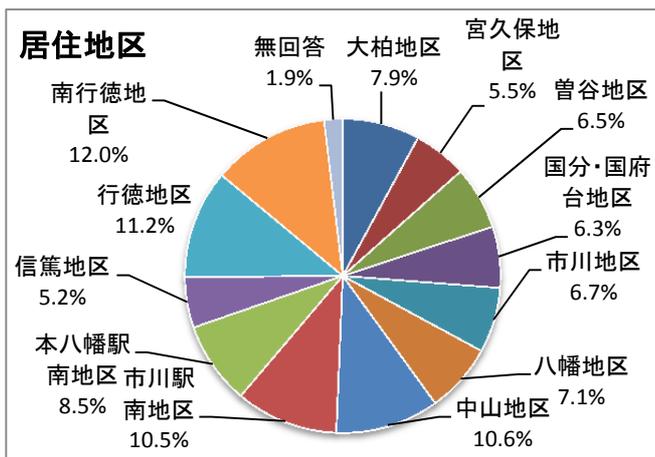
	意見交換会		郵送アンケート		e-モニター		合計	
	回答数	回答比率	回答数	回答比率	回答数	回答比率	回答数	回答比率
1. 戸建住宅	461	85.5%	699	50.6%	806	57.0%	1966	59.0%
2. 集合住宅	65	12.1%	654	47.3%	595	42.1%	1314	39.4%
3. その他	0	0.0%	5	0.4%	5	0.4%	10	0.3%
4. 無回答	13	2.4%	24	1.7%	7	0.5%	44	1.3%
計	539	100.0%	1382	100.0%	1413	100.0%	3334	100.0%



オ) あなたがお住まいの地区

	意見交換会		郵送アンケート		e-モニター		合計	
	回答数	回答比率	回答数	回答比率	回答数	回答比率	回答数	回答比率
1. 大柏地区	39	7.2%	101	7.3%	124	8.8%	264	7.9%
2. 宮久保地区	48	8.9%	61	4.4%	74	5.2%	183	5.5%
3. 曾谷地区	53	9.8%	74	5.4%	91	6.4%	218	6.5%
4. 国分・国府台地区	52	9.6%	85	6.2%	72	5.1%	209	6.3%
5. 市川地区	59	10.9%	100	7.2%	63	4.5%	222	6.7%
6. 八幡地区	29	5.4%	90	6.5%	118	8.4%	237	7.1%
7. 中山地区	48	8.9%	123	8.9%	181	12.8%	352	10.6%
8. 市川駅南地区	39	7.2%	141	10.2%	170	12.0%	350	10.5%
9. 本八幡駅南地区	21	3.9%	122	8.8%	141	10.0%	284	8.5%
10. 信篤地区	47	8.7%	71	5.1%	57	4.0%	175	5.2%
11. 行徳地区	40	7.4%	192	13.9%	142	10.0%	374	11.2%
12. 南行徳地区	48	8.9%	208	15.1%	145	10.3%	401	12.0%
13. 無回答	16	3.0%	14	1.0%	35	2.5%	65	1.9%
計	539	100.0%	1382	100.0%	1413	100.0%	3334	100.0%

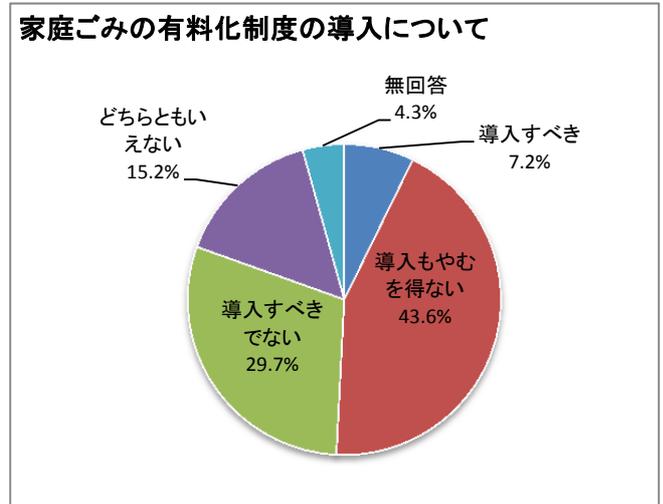
1. 大柏地区	大町、大野町、奉免町、柏井町、南大野
2. 宮久保地区	宮久保3~6丁目、北方町4丁目、東菅野4・5丁目、下貝塚
3. 曾谷地区	曾谷、宮久保1~2丁目、国分1丁目、東国分、稲越町
4. 国分・国府台地区	堀之内、北国分、中国分、国府台、国分2~7丁目
5. 市川地区	真間、市川、須和田2丁目
6. 八幡地区	菅野、平田1・2丁目、須和田1丁目、八幡3丁目、東菅野1~3丁目
7. 中山地区	八幡1・2・4~6丁目、北方、本北方、若宮、鬼越、中山、高石神
8. 市川駅南地区	新田、市川南、平田3・4丁目、大洲、大和田
9. 本八幡駅南地区	南八幡、鬼高、稲荷木、東大和田、田尻1・2丁目
10. 信篤地区	田尻3~5丁目、田尻、高谷、高谷新町、原木、二俣、二俣新町、東浜
11. 行徳地区	河原、下新宿、本行徳、本塩、関ヶ島、伊勢宿、妙典、上妙典、下妙典、富浜、末広、塩焼、宝、幸、入船、日之出、千鳥町、加藤新田、高浜町、塩浜1丁目
12. 南行徳地区	押切、行徳駅前、湊、湊新田、香取、欠真間、相之川、新井、広尾、島尻、福栄、新浜、南行徳、塩浜2~4丁目



問2 家庭ごみの有料化は、ごみ減量を図るため、各家庭から出るごみの量に応じてごみ処理手数料を負担していただく制度ですが、この制度を導入することについてどのように思いますか。

「導入すべき」(7.2%)という積極的な賛成意見が1割未満、「導入もやむを得ない」(43.6%)を合わせた「概ね賛成」と考えられる意見は約5割となっている。一方、「導入すべきではない」(29.7%)は約3割となっている。

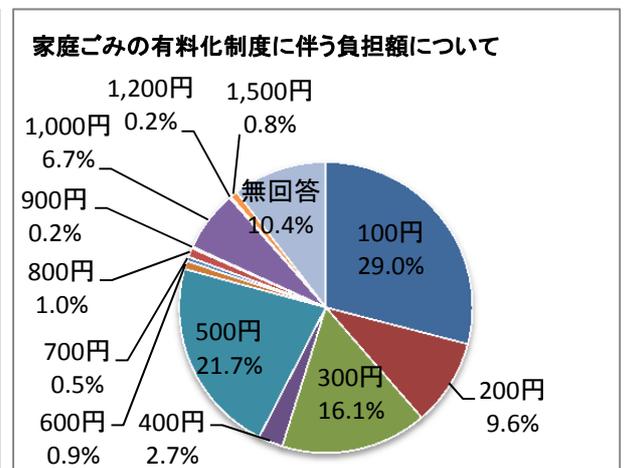
	意見交換会		郵送アンケート		e-モニター		合計	
	回答数	回答比率	回答数	回答比率	回答数	回答比率	回答数	回答比率
1. 導入すべき	54	10.0%	72	5.2%	115	8.1%	241	7.2%
2. 導入もやむを得ない	244	45.3%	623	45.1%	585	41.4%	1452	43.6%
3. 導入すべきでない	108	20.0%	367	26.6%	514	36.4%	989	29.7%
4. どちらともいえない	79	14.7%	229	16.6%	199	14.1%	507	15.2%
5. 無回答	54	10.0%	91	6.6%	0	0.0%	145	4.3%
計	539	100.0%	1382	100.0%	1413	100.0%	3334	100.0%



問3 家庭ごみの有料化をすることとなった場合、あなたの世帯では1ヶ月あたりどの程度の金額であれば負担してもよいと思いますか。

有料化の際の1ヶ月あたりの負担額については、「100円」(29.0%)が最も多く、次いで「500円」(21.7%)、「300円」(16.1%)、「200円」(9.6%)、「1000円」(6.7%)の順となっている。

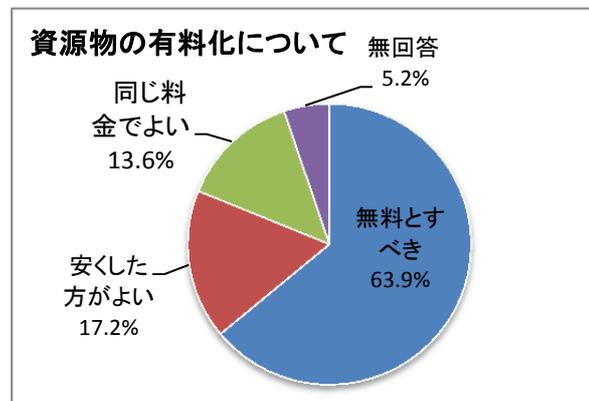
	意見交換会		郵送アンケート		e-モニター		合計	
	回答数	回答比率	回答数	回答比率	回答数	回答比率	回答数	回答比率
1. 100円	82	15.2%	360	26.0%	525	37.2%	967	29.0%
2. 200円	48	8.9%	158	11.4%	113	8.0%	319	9.6%
3. 300円	80	14.8%	223	16.1%	234	16.6%	537	16.1%
4. 400円	10	1.9%	51	3.7%	30	2.1%	91	2.7%
5. 500円	124	23.0%	318	23.0%	282	20.0%	724	21.7%
6. 600円	7	1.3%	13	0.9%	11	0.8%	31	0.9%
7. 700円	3	0.6%	10	0.7%	5	0.4%	18	0.5%
8. 800円	5	0.9%	18	1.3%	9	0.6%	32	1.0%
9. 900円	0	0.0%	2	0.1%	6	0.4%	8	0.2%
10. 1,000円	39	7.2%	80	5.8%	106	7.5%	225	6.7%
11. 1,200円	1	0.2%	3	0.2%	4	0.3%	8	0.2%
12. 1,500円	1	0.2%	8	0.6%	17	1.2%	26	0.8%
13. 無回答	139	25.8%	138	10.0%	71	5.0%	348	10.4%
計	539	100.0%	1382	100.0%	1413	100.0%	3334	100.0%



問4 家庭ごみの有料化をすることとなった場合、「燃やすごみ」と「燃やさないごみ」については、有料化することを考えていますが、プラスチック製容器包装やビン・カンなどの資源物についてはどのようにしたらよいと思いますか。

資源物の有料化については、「無料とすべき」(63.9%)が6割半ばで最も多く、「燃やすごみや燃やさないごみよりも料金を安くした方がよい」(17.2%)を合わせた、優遇化を図る意見(81.1%)が8割を超えている。

	意見交換会		郵送アンケート		e-モニター		合計	
	回答数	回答比率	回答数	回答比率	回答数	回答比率	回答数	回答比率
1. 無料とすべき	293	54.4%	901	65.2%	937	66.3%	2131	63.9%
2. 「燃やすごみ」や「燃やさないごみ」よりも料金を安くした方がよい	99	18.4%	252	18.2%	224	15.9%	575	17.2%
3. 「燃やすごみ」や「燃やさないごみ」と同じ料金でよい	76	14.1%	151	10.9%	226	16.0%	453	13.6%
4. 無回答	71	13.2%	78	5.6%	26	1.8%	175	5.2%
計	539	100.0%	1382	100.0%	1413	100.0%	3334	100.0%

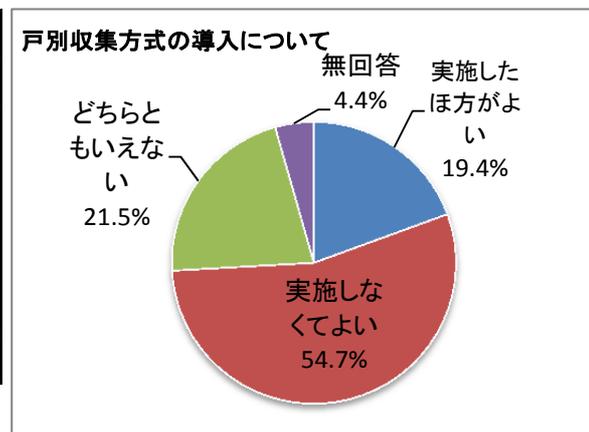


問5 戸建住宅を対象として、建物ごとにごみを収集する戸別収集方式では、ごみ出しルールが守られることや、高齢者等のごみ出しが楽になることが期待できる一方で、現在の集積所収集方式よりもごみ収集費用が増えることが見込まれます。

戸別収集方式を導入することについて、どのように思いますか。

戸別収集方式の導入については、「実施しなくてよい(今のままでよい)」(54.7%)が5割半ばと最も多く、「実施した方がよい」(19.4%)は約2割となっている。

	意見交換会		郵送アンケート		e-モニター		合計	
	回答数	回答比率	回答数	回答比率	回答数	回答比率	回答数	回答比率
1. 実施した方がよい	124	23.0%	228	16.5%	294	20.8%	646	19.4%
2. 実施しなくてよい(今のままでよい)	259	48.1%	762	55.1%	804	56.9%	1825	54.7%
3. どちらともいえない	100	18.6%	302	21.9%	315	22.3%	717	21.5%
4. 無回答	56	10.4%	90	6.5%	0	0.0%	146	4.4%
計	539	100.0%	1382	100.0%	1413	100.0%	3334	100.0%

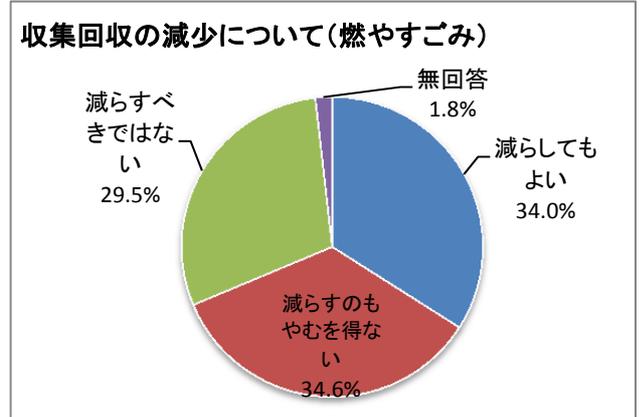


問6 ごみの減量や分別の促進を図るため、ごみ収集回数を減らすことについてどう思いますか。

ア) 燃やすごみ（現在の週3回から週2回へ減らす）

「燃やすごみ」の収集回数の削減については、「減らしてもよい」（34.0%）が最も多く3割半ば、「減らすのもやむを得ない」（34.6%）を合わせた、「概ね削減に賛成」（68.6%）と考えられる意見は約7割となっている。一方、「減らすべきでない」（29.5%）は約3割となっている。

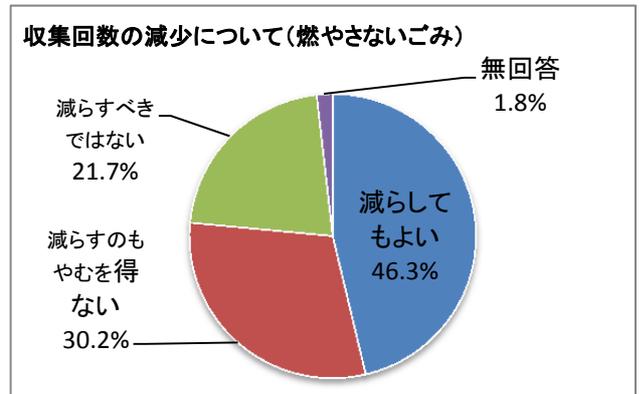
	意見交換会		郵送アンケート		e-モニター		合計	
	回答数	回答比率	回答数	回答比率	回答数	回答比率	回答数	回答比率
1. 減らしてもよい	206	38.2%	509	36.8%	420	29.7%	1135	34.0%
2. 減らすのもやむを得ない	192	35.6%	459	33.2%	503	35.6%	1154	34.6%
3. 減らすべきではない	96	17.8%	399	28.9%	490	34.7%	985	29.5%
4. 無回答	45	8.3%	15	1.1%	0	0.0%	60	1.8%
計	539	100.0%	1382	100.0%	1413	100.0%	3334	100.0%



イ) 燃やさないごみ（現在の週1回から月2回へ減らす）

「燃やさないごみ」の収集回数の削減については、「減らしてもよい」（46.3%）が最も多く約5割、「減らすのもやむを得ない」（30.2%）を合わせた、「概ね削減に賛成」（76.5%）と考えられる意見は7割半ばとなっている。一方、「減らすべきでない」（21.7%）は約2割となっている。

	意見交換会		郵送アンケート		e-モニター		合計	
	回答数	回答比率	回答数	回答比率	回答数	回答比率	回答数	回答比率
1. 減らしてもよい	242	44.9%	677	49.0%	626	44.3%	1545	46.3%
2. 減らすのもやむを得ない	160	29.7%	386	27.9%	460	32.6%	1006	30.2%
3. 減らすべきではない	88	16.3%	307	22.2%	327	23.1%	722	21.7%
4. 無回答	49	9.1%	12	0.9%	0	0.0%	61	1.8%
計	539	100.0%	1382	100.0%	1413	100.0%	3334	100.0%

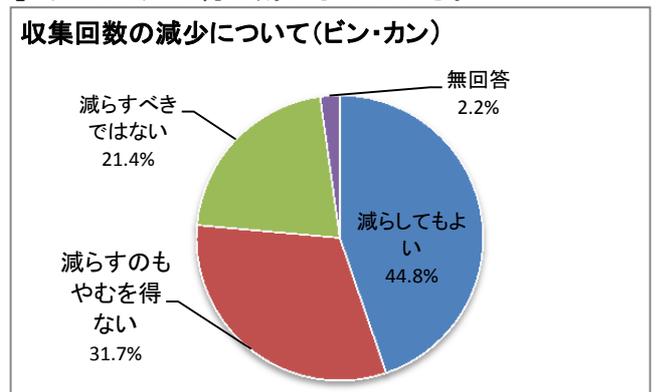


ウ) ビン・カン（現在の週1回から月2回に減らす）

※自治会やマンション管理組合などを対象に実施している集団資源回収を削減対象にするものではありません。

「ビン・カン」の収集回数の削減については、「減らしてもよい」（44.8%）が最も多く4割半ば、「減らすのもやむを得ない」（31.7%）を合わせた、「概ね削減に賛成」（76.5%）と考えられる意見は7割半ばとなっている。一方、「減らすべきでない」（21.4%）は約2割となっている。

	意見交換会		郵送アンケート		e-モニター		合計	
	回答数	回答比率	回答数	回答比率	回答数	回答比率	回答数	回答比率
1. 減らしてもよい	248	46.0%	629	45.5%	616	43.6%	1493	44.8%
2. 減らすのもやむを得ない	148	27.5%	434	31.4%	474	33.5%	1056	31.7%
3. 減らすべきではない	87	16.1%	303	21.9%	323	22.9%	713	21.4%
4. 無回答	56	10.4%	16	1.2%	0	0.0%	72	2.2%
計	539	100.0%	1382	100.0%	1413	100.0%	3334	100.0%



問7 家庭ごみの有料化・戸別収集の導入・ごみ収集回数の削減について、自由な意見を記入してください。

自由回答には全部で1,880件(56.4%)の多くの意見が寄せられた。

家庭ごみの有料化についての意見(925件)は、手数料と不法投棄に関する意見が共に203件と最も多く、次いで支援策・減免対象に関する意見が36件となっている。主な意見としては料金の設定や徴収方法に関する意見や、有料化の弊害として不法投棄が増えることへの不安、子育て世代や高齢者への支援に関する意見などがみられた。

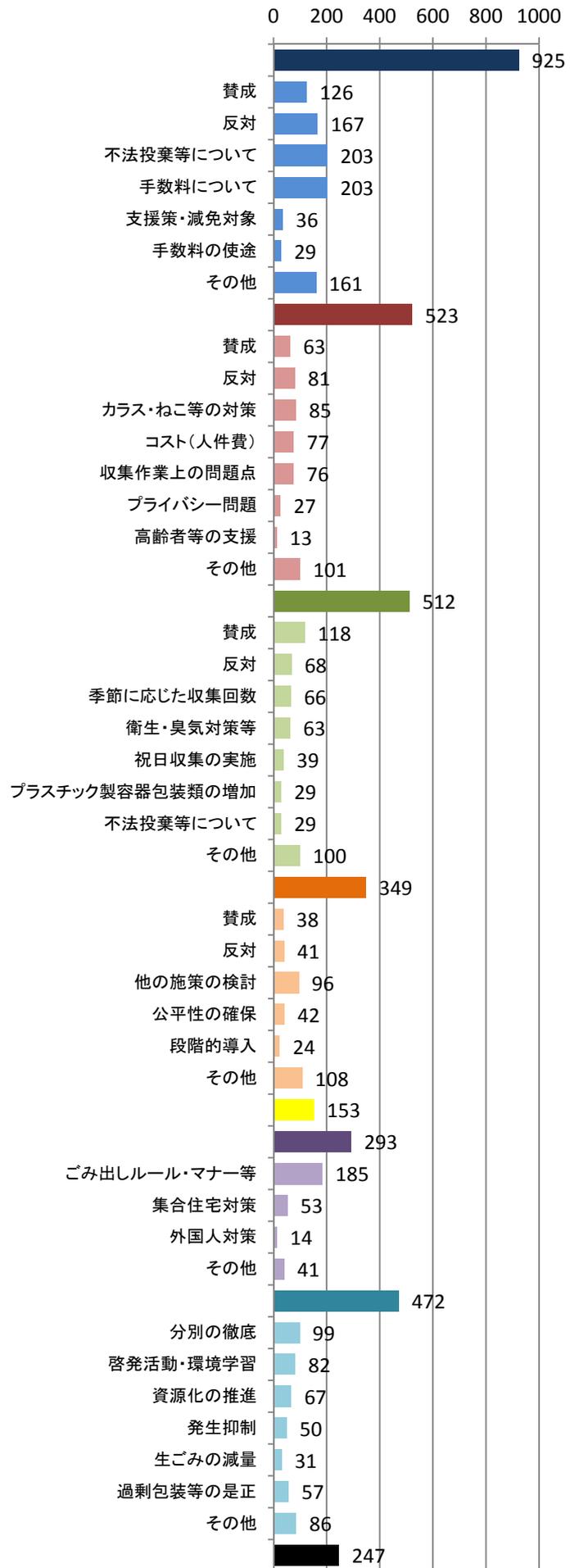
戸別収集についての意見(523件)は、カラス・ねこ等の対策に関する意見が最も多く85件、次いでコスト(人件費)に関する意見が77件、収集作業上の問題点に関する意見が76件となっている。主な意見としては、道路が狭いため収集作業時の安全面への不安や、収集コスト増加に対する懸念や、収集時間が延びることによりごみを放置する時間が長くなることで、カラスやねこの被害が増えることへの不安などが見られた。

ごみ収集回数の削減についての意見(512件)は、季節に応じた収集回数に関する意見が最も多く66件、次いで衛生・臭気対策等に関する意見が63件、祝日収集の実施に関する意見が39件となっている。主な意見としては、特に夏場の臭いや衛生面への不安や、夏場以外の回数削減には賛成だが、夏場については前記と同様に臭いや衛生面から減らすべきではないという意見、また、プラスチック製容器包装類の収集については排出量が多く、収集回数を増やして欲しいという要望が見られた。

3つのプラン全体についての意見(349件)は、他の施策の検討に関する意見が最も多く96件、公平性の確保に関する意見が42件、段階的導入に関する意見が24件となっている。主な意見としては、ごみの減量化対策を強化することにより有料化等を回避する意見や、住民サービスとして公平性を確保するなどの意見が見られた。

家庭ごみの有料化・戸別収集の導入・ごみ収集回数の削減以外の意見では、市民説明・広報周知に関する意見が153件、不適正排出等に関する意見が293件、減量対策に関する意見が472件となっている。主な意見としては、3つのプランに関する広報や周知の不足、ごみの分別等の周知や、ごみ出しルールやマナーの悪化などの意見がある一方、減量化対策を進めることにより有料化等の回避を求める意見、また、販売店等の過剰包装の是正を求める意見などが見られた。

	回答数
家庭ごみの有料化について	925
賛成	126
反対	167
不法投棄等について	203
手数料について	203
支援策・減免対象	36
手数料の用途	29
その他	161
戸別収集の導入について	523
賛成	63
反対	81
カラス・ねこ等の対策	85
コスト(人件費)	77
収集作業上の問題点	76
プライバシー問題	27
高齢者等の支援	13
その他	101
ごみ収集回数の削減について	512
賛成	118
反対	68
季節に応じた収集回数	66
衛生・臭気対策等	63
祝日収集の実施	39
プラスチック製容器包装類の増加	29
不法投棄等について	29
その他	100
3つのプラン全体について	349
賛成	38
反対	41
他の施策の検討	96
公平性の確保	42
段階的導入	24
その他	108
市民説明・広報周知について	153
不適正排出等について	293
ごみ出しルール・マナー等	185
集合住宅対策	53
外国人対策	14
その他	41
減量対策について	472
分別の徹底	99
啓発活動・環境学習	82
資源化の推進	67
発生抑制	50
生ごみの減量	31
過剰包装等の是正	57
その他	86
その他	247



## 主な自由意見（抜粋）

### 1. 家庭ごみの有料化について

#### (1) 賛成

- ・ごみ出しマナーがひどいので、有料化にするとごみ出しの徹底がされてよい。
- ・有料化すれば、ごみの減量・資源化に対する意識が高まる。
- ・未来のために有料化することはやむを得ないと思う。
- ・収集代が無料だと甘えが出るので、有料にすることには賛成。
- ・有料化はごみ削減効果あり、市民として公平にできることであれば取り入れることに賛成。
- ・ごみの有料化は必要だと思うし意識も高くなる、一方で料金が高くなると川や空き地に捨てる人が増えると思うのでその取り締まり等も考えないといけないと思う。
- ・ごみの問題は将来に向けて今実施しなければならぬ大切な課題。一人一人がもっと考えなければいけないことだと思う。
- ・最終処分場がないのは問題。他市に焼却灰を持ち込んでいることを申し訳なく思う。有料化しましょう。
- ・有料化は効果が期待されますので大賛成。ボランティア団体や自治会が行っているごみの収集（河川敷、ある程度規模の地域）は有料化で不法投棄の激増も予想され、是非無料化をお願いしたいです。
- ・私の家では、生ごみを堆肥化しており、4年位、生ごみを出していません。有料化で市民一人一人の意識が変わるならば実施すべき。
- ・有料化は賛成だが、無駄にお金をかけないで収集する方法も考えてほしい。

#### (2) 反対

- ・公民館の値上げ、駐輪場の有料化、それに加えてごみ有料化は反対。
- ・消費税も上がり、なんでもかんでも有料にしないでほしい。その代わりに、収集の回数を減らした方がよい。
- ・家庭ごみの有料化には反対。すぐに値上げするのではなく色々な削減方法を考えてからだと思う。
- ・有料化は個人の負担増になるので反対。
- ・有料化には反対。その前にすることがまだある。センター建替えと有料化は別問題。
- ・有料化するならごみ袋は無料にすべき。
- ・有料化する前に、まずは収集回数の削減からすべき。
- ・すべての地域で有料化している訳ではないのですから、税金で賄って下さい。
- ・何のための税金か？まだ削るところがたくさんあるのに、ここにかかるのは経済弱者に対して不公平である。
- ・生活保護のため、有料化するとたかが数百円でも国からの支給額は決まっているので生活が厳しくなる。
- ・ごみの収集は市町村の責任の一部だと思う。何のために税金を払っているのか疑問を感じる。
- ・市民に負担を強いる前に、市職員の人件費抑制や箱物行政のスリム化を行うべき。

### (3) 不法投棄等について

- ・有料化することで公園、道、空き家の庭等にごみを捨てる人達が増え、市内のあちこちでごみが捨てられるようになる。
- ・有料化をした場合、他の人のごみに自分のごみを入れる人が出てくる。
- ・家庭ごみ有料化することによって不法投棄が増えるだけ。
- ・現在でもクリーンセンターへ持込めば料金を払わなければならないので不法投棄をする者が後をたたないが、家庭ごみの有料化をすれば、さらに不法投棄が増えるのではないか？
- ・ごみを捨てるために家庭の負担が増えると不法投棄の増加が心配。そういう面への対策も打ち出してほしい。
- ・有料化する事によって収集に出さず不法投棄する人が出ると思われる。近くの空き地に行くとテレビなどの家電製品や自転車が投げ捨てられている。結局、税金で撤去、清掃する事になり、まじめに税金を納めルールを守っている人ばかりが損とは言わないが、負担が多い世の中のように感じる。

### (4) 手数料について

- ・1リットル1~2円は高すぎる。有料化にするにしても、もう少し低い手数料の設定にしてください。
- ・45ℓ1枚45円~90円の手数料は高すぎる。
- ・高齢化社会の中、年金生活者が多い有料化は厳しい。手数料は最小限度に努めてほしい。
- ・ごみ収集代金の徴収方法は、固定資産税や住民税から一括払いや前払いにして、実践ベースで還付する方が効果的と思う。
- ・現在使用している指定ごみ袋をやめて、有料のシールを貼って出すようにすればよい。
- ・燃やすごみ及び燃やさないごみの袋を新たに、量を3~4段階（10ℓ、20ℓ、30ℓ、40ℓなど）とし、それぞれ袋の値段の差を大きく変え市が販売する。
- ・1回（1袋）数十円にしてほしい。1回100円近くまでの値段だと、家計が厳しい。
- ・家庭ごみの有料化について、そもそも、市指定のごみ袋を買うことになったことで、有料化されたも同然と思っていた。さらに徴収することに、非常に抵抗感がある。

### (5) 支援策・減免対象

- ・高齢者がいるので、介護による紙おむつが出るようになると料金等の負担が心配です。
- ・ごみが多い家庭。赤ちゃん、介護老人がいておむつ等で増加、有料化するときにはそれを考慮してあげてください。
- ・子供のおむつが燃やすごみの大部分を占め、負担増となる。何か対応はないのか？
- ・家族が多い家は金額が負担になってしまうので、何らかの支援策があるとよい。
- ・他市では小さい子ども（3歳未満）や介護が必要な高齢者がいる世帯はおむつ世帯として、ごみ袋の無料配布がありました。有料化する場合は市川市でも、検討して頂ければと思う。
- ・有料化に当たり低所得者層への配慮は当然考慮されるべきと考える。
- ・年金で生活している人のことを考えるべき。そういう人たちはごみを出す量が少ないのですが、一律では納得いれない。

### (6) 手数料の使途

- ・有料化した場合、市民からの負担金の使い道をきっちり報告してほしい。

- ・有料化後の費用の使い道が不明瞭である。
- ・手数料の収入を建替えの費用に使うべき。減量や資源化の推進には使用しないでほしい。
- ・有料化するなら、今まであてていた経費は何に使っていたのか詳細を教えてください。
- ・清掃業務をされている現場の方々の賃金アップにつながるのであれば賛成。

## (7) その他

- ・今の時代就職しても賃金カット等で個人の生活が大変なので、他に削減できるところはないか。
- ・資源の有料化について、メーカー負担がベスト。
- ・ごみ減量と有料化とは結びつかない様な気がする。
- ・有料化ありきではないということで安心している。
- ・有料化を前提に協議するのではなく、処理費用について精査し、それを市民に提示してからにしてほしい。
- ・有料化により今コンビニ、スーパー薬局など多くの場所で買えるごみ袋の購入可能場所が減るといった利用者に不便の生じるようなことは、避けていただきたい。
- ・集積所に出すごみも戸別収集のごみも有料費用は同じですか？
- ・県内で60%が有料化しているのであれば考えざるを得ないと思う。
- ・プラ容器についても有料化による減量が望ましいのではないか。
- ・指定のごみ袋を購入することでごみの有料化になるとの説明を受けた記憶があります。ごみ袋だけの値段なら、なぜ”指定”にしたのでしょうか。
- ・有料化すれば市外への転出が相次ぐと思う。
- ・誰だってお金は払いたくないわけですから、その点を十分配慮し不公平感がないような方法を考えてください。
- ・有料化止むなしとも思うが、回収業者等に支払う金額が増えるのであれば本末転倒となるので十分考えていただきたい。
- ・市民全体が家庭から出るごみの排出量を抑えることにより金銭的なメリットを感じる仕組みを導入することで実効性が出てくるものと思う。経済的なメリットを打ち出すことの有効性はやはり無視できず、精神論だけでは人はなかなか動かないので、残念ながら現金なものかと思う。
- ・1年ごとに、世帯人数に応じたごみ袋を一定枚数無料で配布し、それを超える場合は有料で袋を買うようにしているところもある。
- ・無料だからと無尽蔵にだし続けるごみは何ともしないといけないと思う。税金の使い方を市民として見直すべき。
- ・ごみ有料化を考えるならば、公務員の給与を減らしてもらいたい。ごみ問題はその後の事。

## 2. 戸別収集の導入について

### (1) 賛成

- ・戸別の収集に人件費増す事によって5億の出費が有る。ごみの減量につながるのならば賛成。
- ・戸別収集の導入を強く希望する。
- ・戸別収集になるのでごみ集積所の後片付けをしなくてもよくなるので賛成。
- ・外部からのごみを置かれる事のなく戸別なら自分で始末をする、鳥、ねこなどの被害がなくなります。

- ・希望する地区から早急に戸別収集をしてほしい。
- ・戸別収集については条件付きで賛成。
- ・戸別収集にした方が良い。収集場所が自分の家の前なら決められた日にきちんと出してくれる。
- ・戸別収集の導入には賛成。ごみの管理を各家庭で行なう事により、ごみを減らすという意識が持て、ごみの当番制の負担も減らせる。
- ・戸別収集をすることで、収集日以外、夜間などにゴミを出す人がいなくなりいいと思う。
- ・高齢者が多くなるにともない戸別収集だとありがたい。
- ・資源をごみとして出している現状を改善していく方がごみの減量化が図れるのではないだろうか？そのためには戸別収集が有効だろう。
- ・最近決められた袋で出さない人や、不法投棄が増えて迷惑しています。戸別収集の導入を望む。
- ・戸別収集はごみの出し方が明確になる上、街角（集積所）のごみがなくなり、町の美化にもつながるので賛成。

## (2) 反対

- ・各自でごみを減らし、収集の回数も減らせば、戸別収集しなくても良いと思う。
- ・戸別収集は一戸建地域では住民が話し合い、収集場所設置、管理を行っていると思う。この自発的活動が地域活性地の根源だと思う。この根を失わせる方向に向う施策に反対。
- ・戸別収集は市の作業員が大変なのでやめた方がよいと思う。
- ・戸別収集は、コストアップ、カラス対策の悪化、狭い住宅街の美観が損なわれる等が懸念されるため反対。
- ・戸別収集には反対です。自分のごみと他の人が持ってきて置いていきそうで不安。
- ・ごみ袋も有料化するのであれば、それに伴って戸別収集と言うのは、余分な経費と時間が必要となるのでそう言う事はすべきではないと思う。
- ・戸別収集は反対、道路近くにごみを出す場合、時間帯によりますが車の渋滞があるので危険。
- ・道幅が狭い地域で両側にごみ袋があると車や歩行者の通行の妨げになる。
- ・戸別収集は、人件費や車を増やすなどの経費がかかるので実施しないほうがよい。

## (3) カラス・ねこ等の対策

- ・ねこ、カラスが散らかすので、私は一年中当番のようでとても困っている。
- ・戸別収集の際に共稼ぎ世帯など昼間いない人のごみ放置（カラス、野良猫対策）をどうするのか？
- ・カラスのネットは戸別収集になるとできなくなる。
- ・猫やカラスの対策は考えているのでしょうか？
- ・戸別収集の導入は、家の前にゴミを置かれると鳥などのごみ散らかしにつながる事となると思う。
- ・戸別収集により収集時間が遅くなれば、カラス等の問題が生じないか？
- ・ごみ収集が午後になるとカラス等が食い散らかして周りが汚れるので午前の収集にならないのか？
- ・場所によってカラスやねこがかきまわすので、網やネットではなく、鉄製の用器に入れる等を考えてほしい。
- ・戸別収集はルールが守られるが、“カラス”対策用のネットを各家庭に配布してほしい。
- ・戸別収集にすると生ごみがカラスや野良ねこや飼いねこに荒らされないように戸別に頑丈なごみ置場を設置する必要があり、無理な家庭はどうしたらいいのか？

#### (4) 人件費（コスト）について

- ・ 収集の回数を減らせば、戸別収集しなくてもよいと思う。人件費（収集）も少なくなると思う。戸別収集、大反対。費用（車、人件費）が沢山かかる。
- ・ 戸別収集は収集効率（コスト増）が低下するのではないかと？
- ・ 戸別収集は手間と時間とコストがかかり、経費削減どころか増加になる、デメリットが大き過ぎる。
- ・ 戸別収集の場合、細かい対応が必要ですので係の方は大変です（時間的に）（コスト的に）資源ごみをどう回収、生かしていけるか。徹底されていないと思う。
- ・ 戸別収集の場合は、収集に時間がかかり、人員も必要になり費用も増えると思う。

#### (5) 収集作業上の問題点

- ・ 収集作業に携わる方の手順、方法も必要により考えることが望ましい。
- ・ 戸別収集を実施した場合、収集漏れが心配。
- ・ ごみの収集に今まで以上、時間を要するのでは？
- ・ 戸別収集を実施するには、道路が狭いため困難な地域が多く、導入するには問題が多いと思われる。
- ・ 戸別収集をすると時間帯によっては交通のさまたげにならないか？特に国道 14 号は交通量の多い道路では渋滞するのでは？
- ・ 戸別収集になった場合、仕事とかで誰も家にいない場合はどうするのか？
- ・ 戸別収集は作業員の方々の負担をはじめ（増員せずに現状のまま収集されると）最終収集ルート地は何時になるか。（夕方ごろだと）真夏が問題になる。
- ・ 戸別収集となった場合、収集業者が本当に当たってくれるのか、その質と背景を、市は真剣に選択しなければ問題が起こるだろう。
- ・ 現在、ごみの収集に昼までかかることが多いのですが、戸別収集の導入後は更に時間がかかるのではないかと不安に思っています。他県で午前 0 時までのごみ出し、朝までの収集をしているところもあり、個人的にはそれがよいのでは？

#### (6) プライバシー問題

- ・ 戸別収集方式にした場合、プライバシーはきちんと守られるのか。
- ・ ごみ袋が透明のままでは「この家庭はこんなごみを出している」という事が浮き彫りになる。それはとても恥ずかしくプライバシーの問題を持ち出す人もいるでしょう。
- ・ 戸建の方は燃えるごみがデリケートな場合も考えられるので、集積所の収集が望ましいと思う。
- ・ 家庭によってはプライバシーの問題も考えられますので特別な方法を考えることが必要かと思う。

#### (7) 高齢者等の支援

- ・ 戸別収集は高齢者にとっては助かる案と思いますが、それによって費用増になるには好ましくない。
- ・ 戸別収集の導入は是非やってほしい（年をとって捨てに行くのが大変）。
- ・ 高齢者の生存確認の役割もできる事など、メリットとデメリットについて事前に明確にし、デメリットの対応を事前に周知してほしい。
- ・ 高齢の方等を対象に要望があるところのみで良いように思う。
- ・ 高齢者の一人暮らしの方が困らないように支援してください。

#### (8) その他

- ・戸別収集はありがたいのですが、現実的ではないと思います。本当に、私の自宅前まで取りに来てくれるのでしょうか？
- ・戸別収集により、住民各個人のごみに対する意識をより強くさせるべきだと考える。
- ・戸別にすることによって衛生面、労力が各自の考え方を改めるでしょう。
- ・戸別収集は戸建てだけならば、その費用は戸建の人のみが出すべき。
- ・戸別収集方式は戸建住宅に対する新しいサービスとも考えられるので、収集費用の増大をごみ袋に転化するの公平性の問題が生じる恐れがある。
- ・戸建住宅ばかり対象にしているが、集合住宅はどうするのか？まずは集合住宅の方だと思う。
- ・ごみを置かせてもらっている家に負担が掛かり申し訳ないので、戸別収集は各自で責任を持った方がよい。
- ・戸別収集によって、隣近所との付き合いが希薄になっている状況をさらに進めるような心配がある。
- ・戸別収集は、希望者のみ有料であればよい。

### 3. ごみ収集回数の削減について

#### (1) 賛成

- ・ごみ収集回数を減らすのは賛成。
- ・分別を徹底してやっているのだから、収集回数は減らしていただいて大丈夫です。
- ・ごみ収集回数の削減については回数を減らしてよいと思う。
- ・ごみ収集回数は、3回から2回にした方がよい。ごみの減量につながると思う。
- ・他のいろいろな自治体に住んだことがあります。大体の所が燃やすごみは週2回燃やさないごみは月1～2回でした。それで困ったことはなかったのだから、市川はごみ収集が多いなと思っていた。収集回数は減らしてもいいと思う。
- ・週3回と思うと、それ程ごみが無くても出さないと！と思ってしまい、少量でも毎回出しています。回数を減らすことは良案。
- ・都内に住んでいた時は、燃やすごみは週2回が普通だったので、週2回で充分。
- ・ごみの収集回数の削減については大賛成。すぐにでもできて効果大。週3の燃やすごみは私の経験上他に無い過剰サービス。燃やさないごみやビン、カンが絶対量が少ないので収集回数は削減すべき。
- ・有料化よりも、収集回数を減らして費用を削減するほうがよいと思う。
- ・回数削減は、意識向上につながると思えないが、人件費抑制に繋がるのでよい。

#### (2) 反対

- ・収集回数の削減に反対です。
- ・収集回数の削減は今でもごみが散乱して汚いのに、より汚くなるのが想定される。
- ・都内は収集回数が少ない市川市は多い方で、とても助かる。
- ・小さな子どもがいる家庭としては、「燃やすごみ」特におむつのごみが大量になり、回数削減をされるのは大変困る。
- ・燃やすごみの収集回数に関し、別に東京都と比較する必要など無く、出されるごみの量があるのなら週3回きちんと行うべき。

### (3) 季節に応じた収集回数

- ・燃やすごみの収集回数は週3回から2回でも減らしても良いが、夏は3回にしてほしい。
- ・燃やすごみへ、冬は減らしても良いが、夏はハエや小バイがわくので今までで良いと思う。
- ・夏場の可燃ごみ収集の週2回はよくない。いくら水切りしても置く場所の関係で辛い。
- ・燃やすごみの回収は季節により考慮する必要がある。夏や春など気温の高い時期には衛生上の問題が発生するので腐敗を避けるために収集回数を増やし、冬季には減らすなど柔軟性を持たせたらよい。
- ・家庭ごみがたくさん出るのは季節の変わり目、年末が多いです。その時期は今迄通りで普段は回数を減らしても良いと思う。
- ・燃やすごみは夏3回、冬は2回なども検討してはどうか？（夏は回数が減ると臭いなどの点で問題があるので、減らさないでほしい。）

### (4) 衛生・臭気対策等

- ・家庭でのごみは、収集回数を減らすことで不衛生になると思う。
- ・燃やすごみの回数が減ると、夏場など1回のごみの出方が多くなるため、収集に時間がかかり不衛生になる。
- ・生ごみについては、収集回数が減ると悪臭や腐敗など健康面での心配があり、生ごみが入っている燃やすごみについては、現状維持がよい。
- ・子供のおむつは毎日何個も出るので以外にかさ張る。臭いも出てくるので週2回に減らされると家の中が臭くなるし、置き場所もない。
- ・マンション居住の場合収集回数を減らすとベランダが狭ましく臭等して保管場合がない。
- ・燃やすごみの収集回数を減らすと虫が湧き、臭いの原因にもなるので今まで通りがよい。

### (5) 祝日収集の実施

- ・燃やすごみが週2回になった場合、祝日の収集を実施してほしいと思う。
- ・収集回数を削減するのなら、祝日も必ず収集してほしい。
- ・週2回の収集にされるなら必ず2回は集めて頂きたい。現在も祝日に収集されなくて困ることが多く、できるならば、祝日にかかわらず毎週同じ曜日に集めて頂ければありがたい。
- ・週2回にした場合、週1回になるのでは？それとも翌日に収集するのですか？休日出勤扱いで費用負担が多くなるのではないのか。

### (6) プラスチック製容器包装類の増加

- ・プラスチック製容器包装類は、資源回収所がなく週1から月2回になるとごみ置場に困る。
- ・燃やすごみは週2回で充分だが、プラスチック製容器包装類は、週3回にすべき。
- ・プラスチック製のゴミは、過包装の現状をふまえると収集頻度を減らされると困る。
- ・プラスチック容器包装は今後も増えると思われるので週1回の収集を減らすことは難しいと考える（むしろ回数を増やしてほしいとの意見が多いのでは）。
- ・燃やすごみとプラごみを分別するようになって、逆にプラごみがすごく多くなった。
- ・燃やすごみの日や、燃やさないごみの日は現状より曜日を減らしてもさして問題は無いが、その分、プラスチックのごみの日は増やしてほしい。以前から、希望している。

#### (7) 不法投棄等について

- ・値上げ収集回数を減らすことになると、公園、道、空き家の庭等にごみを捨てる人達が増え、市内のあちこちでごみが捨てられるようになる。
- ・ビン・カンの収集を減らすとポイ捨てが増える。
- ・ごみの排出について有料化を実施し回数を減らせば必ず（不法投棄）が増える。
- ・ごみ収集回数の削減をした場合、ごみを不法投棄する人が増えないか心配。

#### (8) その他

- ・収集回数を減らす事と1回の量が増えてアパートの場合、集合のごみステーションがいっぱいに入らなくなりそう。
- ・収集回数の削減は第一に考えられるべきものだと思う。ただここで問題なのが、削減された事により、よりきちんと分別をして出す方が減る可能性が高くなると思う。
- ・世帯数の多いマンション等では、収集を減らされると、ごみ置き場に入らなくなる。
- ・ごみの収集日を3回→2回に減らしても、結局溜め込んでしまうことになるだけで削減につながるどころか、1回のごみの収集量が増え収集に時間がかかるようになるのではないかと。
- ・収集回数を減らせば、自宅保管時のことを考えて皆ごみの削減を考えるはず。

### 4. 3つのプラン全体について

#### (1) 賛成

- ・ごみ減量化への促進の為に実施すべきと考える。
- ・3つのプランに賛成です。しかし周知、理解を得る方法に工夫が必要。
- ・3つのプランに賛成、同時実施可能だと思います。是非実施してもらいたい。
- ・3つのプランはいずれも実施する方向を支持するが、現状と比べると市民の負担が大きくなると思われる。負担だけでなく、何か市民にとって目に見えるメリットを考えないと反発が大きくなって、実施不可能になると思う。
- ・3つのプランについて、市民生活で必ず発生するごみは行政に全て任せる事でなく市民自ら、自分の問題とて心したいと思う。
- ・「捨てる」に責任を持つことはとても大切だと考えます。買う時には意識が高いのに捨てるのは無意識では困ります。その意味で今回の3つのプランは有意義だと思いました。
- ・家庭ごみの有料化・戸別収集の導入・ごみ収集回数の削減について常々導入すべきと考えていた。
- ・市の方針（考え方）は理解できるので、導入することに賛成する。ただし、戸別収集による車輛や人数の増加や経費の増加などの問題もあり、費用対効果のバランスを充分検討する必要があります。市の方針が明らかになる過程で市民に説明し、意見などを聴取し丁寧に計画を進めて頂きたい。
- ・ごみの削減と処理コストの削減に向けて頑張ってください。出来る限り協力します。
- ・市民にごみ問題への危機感を持ってもらわないと、どんな方法も効果が上がらない。やるなら3つすべてやるくらいでもいいと思う。

#### (2) 反対

- ・3つのプランにすべて反対ですが、ごみ分別について今後は更に気を付けようと思う。

- ・ 3つのプランも現状の収集システムを悪くするものである。ごみ処理費の削減は市の予算を削減せざるを得ない理由によるものであるが、ここに至る前にもっと抜本的な対策を打つことが出来なかったのか？
- ・ 机上の計画だけを押しつけるのはよくない、お金の使い方をもっと考えて使うべき。一旦有料化すれば足りないから値上げを繰り返す話になっていくのではないか？
- ・ 今のままである事を希望しますが、マナーが悪い人や、出し方の悪い人（近所にも説明しても、理解できない、外国人やご年配の方）がいる事も事実。
- ・ 今のままで良いと思います。新しく住人になった方のごみの出し方をしっかり伝えてほしいです。
- ・ 3つのプランは反対です。まず収集回数を減らすことだけでごみの減量、人件費の削減に繋がると考えます。

### (3) 他の施策の検討

- ・ 有料化・戸別回収・回数の削減をする前にできることはないかを検討してほしい。
- ・ 市民の意識向上、改革を再度、行政の力で実施すべき。
- ・ ピンチはチャンス、すべての市民にかかわる問題なので他の課題、事業ともからめて連携する。
- ・ ごみの総量は増えてゆくことが自然な考えではないか？そのことに対して目を向けた対策を検討し、講ずるべきと考える。
- ・ 住民税を負担している。ごみの減量化にも取り組んでいる。税金の配分の問題では。安易に有料化を図るのではなく、全体的な見地から検討してほしい。
- ・ 有料化、戸別収集の導入は検討の余地あり。

### (4) 公平性の確保

- ・ ステーション収集と戸別収集に使うごみ袋の料金を別にしないと、不公平にならないか？
- ・ ごみを減らす努力もするであろうし、減量のためには致し方ないかと思う。とするならば、ごみ量によって金額を決めるべきではないだろうか？一律に、世帯毎、1ヶ月当たり決められた金額というのはおかしいと思う。（家族の人数によっても違うことは明白である。）
- ・ 袋代を高くして対応するのが一番平等なのでは？
- ・ 家庭によって家族人数やごみの量も多い所と少ない所で大分差がありますので一律に1ヶ月〇〇円と定めるのは不公平。
- ・ 戸建とマンションで不公平感の無いような政策にしていきたい。費用、回数、など。
- ・ 有料化ではなく、ごみの収集回収の削減で対応したほうがよい。戸別収集できない住宅がある（全住宅戸別収集できない）のであれば、ごみの収集費用が増加するだけで、かつ負担の公平性が保てないのではないかと思う。

### (5) 段階的な導入

- ・ 不法投棄の増加が想定されるため、試験導入を実施すべき。
- ・ 3つのプランにする前に、収集の回数を減らすことを先に試してほしい。
- ・ 有料化は最終手段だと思う。段階的にした方がよい。
- ・ まず、第一段階として、収集回数を減らすことを実施すべきだと思う。

## (6) その他

- ・ 3つのプランが特定の年齢層の意見が正として反映されるようにはしないでほしい。高齢化といって人数が増えて、その意見が主とならないような制度であるべきである。
- ・ 3つのプランについての優先順位を明確にし、コスト意識を高く持って取り組んで頂きたいと思う。
- ・ 3つのプランは暮らしに直結するので、置かれている状況により一律というのは難しいと思う。
- ・ ごみの減量、資源化を図ることは当然の事であると思います。制度、導入にあたっては当然抵抗ある事も理解できます。ルール作り、それを周知・徹底することを忘れないで。
- ・ 3つのプランを検討するうえで、費用が増減のイメージがつかみづらい。減るものを導入すれば有料化しなくてもよいのか？3つとも導入すれば、有料化せざるを得ないのか？全体図がわからない。
- ・ 市川市は他市より、厳しくなくてよいと思っていたが、やはり他市と同じような状況にならざるを得ないのでですね。

## 5. 市民説明・広報周知について

- ・ もっと、説明会の開催を増やすべき。
- ・ ごみの分別方法を市民にもっとアピールするべき。
- ・ 有料化を前提に協議するのではなく、処理費用について精査し、それを市民に提示してからにしてほしい。
- ・ ごみの減量、資源化を図る 当然の事であると思う。制度、導入にあたっては当然抵抗ある事も理解できます。ルール作り、それを周知・徹底することを忘れないでほしい。
- ・ 有料化もやむをえないと思うが、「周知」は徹底すべき。
- ・ 分別収集のPR不足、紙類の出し方がこの説明会で知った。
- ・ 各自治会の回覧板、広報などで大きくクリーンセンターの建替え、ごみ最終処分場がない他を取り上げて、市民に理解してもらった方がいいと思う。
- ・ 色々な意見が出ると思うが、良い方向に進むように途中経過等がわかるとありがたいです。ごみの減量アドバイスも広報紙等でおしえて頂けると頑張れそう。
- ・ HPの掲示は、関心のある人しか見にいかないの、関心のない人たちに知ってもらうように紙媒体でも発信させていった方がよいのでは？
- ・ 本当に毎日ごみ戦争です。この方式で決定されるならば、周知徹底のため各家庭にチラシを配るなどして頂きたい。
- ・ 3つのプランが決まったら、駅とかスーパーにチラシを置いたり、掲示したりしてPRを強化すべき。

## 6. 不適正排出等について

### (1) ごみ出しのルール・マナー等

- ・ ごみ出しマナーが最近特にひどいので、有料化するとごみ出しの徹底がされてよいのではと思う。
- ・ 少しでもごみ捨てルールが守られることが重要。
- ・ 集積所当番になった際に、ごみ分別ルールを守っていない人が多く、収集されなかったごみを自宅で保管し、次回の収集日に出していただく負担になる。
- ・ 戸建の人が集合住宅の集積所に捨てに来たりしているので、あまり変わらないと思う。

- ・有料化した場合は戸別収集にしないとルールを守らない人が出てくるが、例外もあると思う。今現在も指定袋を使用しない通りすがりに置いて行く人もいる。
- ・ごみの出し方やわけ方などのルールについて、市民にゆきわたるようにもっと時間をかけて、説明していく事が先決。努力したが、そうせざるを得なかった（回数減、有料等）という市民を納得させてからにしてほしい。
- ・例えば集積所にカメラをとりつける等の対策も同時に実施しない限りは、マナーを守っている市民の負担増になるだけで環境の負担減には決してつながらないと思う。

## (2) 集合住宅対策

- ・アパートの住人に、ごみ出しルールの規制を守らせる方法を考えてほしい。
- ・3回が2回そして1回となっても大丈夫な様にしてゆく事大切だと思う。一人暮らしの方のごみ教育も中々難しい問題。（近所のアパート等、色々問題がある）
- ・マンションアパートのオーナーです。入居者がなかなかゴミの出し方を守ってくれないので困っています。指定の袋に入れてくれないので、置いておかれ、そのあと、指定袋を持って片付けに行きます。
- ・アパートに住んでいる者が指定袋を使わず、時間も譲らず、収集後に道端に置いていく者が居るので戸別収集をした方がよいと思う。
- ・大きなマンションだと、ごみ収集所もその分広いため、それを良いことに数日前からごみを出している人も多くいます。収集回数が減ると放置されるごみが増えるのではないかと思います。
- ・アパートのごみ出しルールの遵守徹底に関する取り組みを強化すべき。

## (3) 外国人対策

- ・私共の自治会には外国人だけ居住しているアパートがあり、家主さんは市外に住んでいて、電話してもごみ程度で電話すると言われる。個人的にはごみは毎日出るのでごみだから大切だと思う。
- ・行徳地域は転出入も多く外国人も多いことから、周知することが難しいと思う。
- ・最近、外国人が増えたこと、ごみ袋代使いたくないため、ごみを勝手に捨てている人が増えている。
- ・今でもルールを守らない人達がいるのもっと悪くなるのでは。（有料にすると）外国人も多くなっているのでは市から出ている日本語（ごみ出しルール）ではわからないのでは。改善を求める。
- ・外国人にごみの出し方の啓発・指導が大事。

## (4) その他

- ・減量対策がうまくいっている地域は現状のままでいいと思う。
- ・指定の袋を使用していないなどルール違反の場合はペナルティが必要と考えます。特にアパートなどは大家や管理会社にそれを課すことでより厳しく取り締まることが可能になる。
- ・自治会に加入していない家庭は、ごみの出し方に関心が薄いようだ。

## 7. 減量対策について

### (1) 分別の徹底

- ・各家庭でごみ資源物を現在より厳しく分別することにより、減量に成功される事ではないか？
- ・各世帯がごみの分別をしっかり守ることが必要だと思う。

- ・まだ、分別をできない人がたくさんいます。資源の回収が少なくなっている。
- ・私はごみを分別することで、燃やすごみが減らせることを実感しています。まず徹底したごみの分別を行うこと（できる限りめんどくさくない方法を考える。だれでもできるように）リサイクルできるものの出し方とか集め方の工夫をする。
- ・有料化になるなら一人一人がごみを減らす意識を持つ事が大事で、もっと細かく分別している地域もありますので、分別方法を考え直したよいのではないかと？
- ・まず有料化の前にごみの分別を徹底して行う。自治会の一人一人に話してゆく事が大切と思う。
- ・分別は必要！！でも 12 分別では少ないカンごみでもスチール・アルミ、ビンごみでも色付と色無し等の分別等もやれば資源になる。
- ・12 分別のルールを徹底して守らせる、施策指導を強化すること。
- ・最近ごみの分別が細分化されていますので、きちんとやれば 1 種類のごみの量も減少すると思う。
- ・燃やすごみとプラスチック製容器包装類等の分別ができない方がいるようだ。
- ・分別の徹底をするためにもっと厳しいルールを作ってほしい。
- ・各家庭においてもっと分別をしっかりとやるべきだと思う。

## (2) 啓発活動・環境学習

- ・若い世代へ伝える 若い世代、子どもへつたえる、子そだてサロン、小中学校等、人の集まっている所へ出張講座の拡充。前回のアンケートを見ても参加年代が非常にかたよっているので、情報流通に課題を感じる。
- ・処理コスト等について、市民の意識啓発 教育等、より広く図ることが大切。
- ・学校で子どもに啓発して、大人に伝えるのはとても有効だと思う。とにかく周知させる方法を工夫してほしいです！
- ・資源化にむけての啓蒙活動を、こまめに、細分化して（町会ごとなど）くり返し、実施すべきではないか。
- ・ごみを減らすよう教育に重点を置くべき。

## (3) 資源化の推進

- ・市の方で分別徹底をすることを広報に何回も出してまず分別の徹底を市民に協力をして貰う。ペットボトル（きれいなものだけ）だけ別に収集する方が良い、プラスチック製容器包装類は減ると思いますが。
- ・資源ごみは、分別した物をもっと気軽にらせる場所作りが必要だと思う。
- ・資源化をもっと推進して徹底すべきでは？
- ・企業体への働きかけこそが（市民個人ではできない）市政の取り組みだと考える。
- ・もっとごみの分別をして再利用できる物を増やすべきでは？
- ・お菓子の箱など、燃やすごみにする人が多いと思うが、もっとわかりやすくして、資源化を促進すべき。
- ・とにかく、ごみとして出さないで資源化への努力を推奨していくべき。
- ・ごみの量を減らすには資源ごみへの意識が大切だと思う。紙ごみが資源ごみとして捨てられることを知らない人も多くいると思う。
- ・スーパーなどの店頭を借りるなどして、拠点回収の場所を増やし、資源化を推進していただきたい。

#### (4) 発生抑制

- ・市ができる取組みは市民への働きかけの他に、企業体への働きかけがあると思う。企業体への働きかけこそが(市民個人ではできない)市の取り組みだと考える。
- ・事業所、団体事務所等にごみの発生抑制への尚一曾の協力をしてもらう。
- ・ごみがでないように皆で考えて行く事が大切。
- ・家庭からの排出の事を考えることも大切ではあるが、それ以前の生産者から販売、小売段階での減量を考えないとあまり効果は期待できない。
- ・生ごみを自宅処理する(土のバクテリアを利用して消してしまう)を実施する。雑かみを資源として出す。家庭の剪定ごみを別に収集して堆肥化する。この方法をとれば燃やすごみは激減する。
- ・アメリカのスーパーでは、野菜はほとんど量り売りで、トレイはあまり見かけません。市民負担だけでなく、事業者に対しても対策を検討させるべき。
- ・我家のごみの大半はスーパーでの買物の包装です。マイバックを持ってスーパーに行きます。物によっては家から容器を持って行き買物する。ごみになるもの減らすことを考えるべきと思う。

#### (5) 生ごみの減量

- ・生野菜のくずなどを庭に埋める。ごみの袋をもう少し種類別に増やすべきでは？
- ・野菜屑でスープを作ると抗酸化物質が出てそのエキスの入ったスープを煮物等に用いると体によい。
- ・コンポスト容器の活用補助を市民に知らせる。
- ・現在のコンポスト容器補助だけでなく、他の方式(キエーロという方法ではたい肥化する必要がないので各家庭でやりやすい)にも補助金を出すなどして市民が生ごみを減らすことをサポートしてほしい。
- ・生ごみを再利用(畑等に各自が埋める, 市も有機肥料に再生するとか)することを考えられないか？
- ・我が家では生ごみを家庭菜園の肥料にしているので、生ごみは全く出していない。
- ・家庭から出るごみの多くは水分を多量に含んだ生ゴミなので、これをまずゴミとして出さなくて済む方法を検討すべき。例えば肥料化するために別収集するなど。

#### (6) 過剰包装の是正

- ・商品の過剰包装の改革、指導をしたほうがいいと思う。
- ・根本的に過剰包装だと思う。スーパーのお惣菜のトレイなどはスーパーに回収してもらうのはどうか？市川の駅前スーパーは、そういうのを置いてあるところがない。
- ・スーパーコンビニの過剰包装を改善すべき。
- ・生産者、販売者等企業の取組みが大事。不要な食品トレイ・パッケージ等を削減する。
- ・企業側やスーパーなどの過剰な包装にも問題があると思う。例えば野菜をトレイに乗せてさらに上からラップをかけたり、袋に入れてあったり、洋服や雑貨などもビニール袋(透明な)に入れてからお店の袋に入れたりして、必要ないものがごみになっている。行政から生産者やお店にも見直すように働きかけてほしい。
- ・商品を販売する側、事業者の簡易包装を進めていただきたい。家庭でも努力しますが、何を買っても大量のごみが出ます。包装≠ごみが減れば、必然的にごみは減るはず。

## (7) その他

- ・ゴミを資源としてとらえ、物質や熱を回収し、利益をだすことを考えるべき。  
抜本的には生ごみ処理機の普及促進、リサイクルが可能な燃えないごみをスーパーなどで引き取り、ポイント付与などの策も合わせないと対応できないと思います。
- ・生ごみの家庭での堆肥化（方法と機材の補助）を促進すべきと思います。
- ・一般廃棄物の生産、販売、回収、再使用に至るまで循環システムを完備し、メーカー責任を徹底すること、5Rの導入などを行うことが必要と思う。
- ・落ち葉や燃えるごみは、自宅でも少量なら燃やせれば、ごみの減量につながるのではないか？

## 8. その他

- ・買い置きしている今までのごみ袋（沢山ある）はどのように扱うのか？交換してくれるのか？コンポストの取扱店を増やしてほしい。
- ・市の方も厳しい状況なのは良く解りました。しかしながら、子育てや家庭やお年寄りの貧困も年々増えている現状を考慮していただきたい。
- ・日々の暮らしの中で自身がすべきことを責任持ってすることを忘れていきます。ごみを自分の家から出してしまえば、後は全く我関せずといったことではなく、各家庭が相手の立場を考えて努力すべき。
- ・すべて日本政府と同じように予算がなくなるのが分かってから対策するのではなく、長期的な目標を持つべき。
- ・最終処分場はなぜないのか。汚染ごみなど他県に持って行き、地方にしわ寄せすべきでない。自分たちのごみは自分の所で処分する計画を立てるべき。
- ・ごみの量や、処理に関する費用が他県と比較したときになんかという情報が知りたい。
- ・現在、市川市でごみ問題が課題として考えていることはわかったが、収支上どうなっているのかをわかるようにしてほしい。また、クリーンセンター建て替えに伴い、いつからどの様な対策（家庭ごみの有料化？戸別収集の導入？ごみ収集回数の削減）で、その対策を行うことで効果がわかるものを提示するべきではないか？